

第23期 西部海区海面漁業調整委員会 委員候補者の推薦・応募状況（募集期間：令和6年11月7日から令和6年12月6日まで） 最終報告
 募集人数15人に対して推薦19名、応募3名 合計22名 うち漁業者等17名（推薦16名、応募1名）

受付 番号	被推薦者及び応募者						推薦者等 ()：法人又は団体団体の場合		
	候補者氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の 状況及び漁 業者又は漁 業従事者で あるか否か の別	氏名 (名称・目的)	職業・年齢 (代表者又は管 理人の氏名・構 成員の数・構成 員たる資格)	推薦・応募の理由
1	野土 一公	漁業	74	男	H23.4～ 竜飛今別漁業協同組合副組合 長 H26.4～ 竜飛今別漁業協同組合代表理事組合 長 R2.5～ 青森県漁港漁場協会監事	一本釣り漁 業、採介藻 漁業、年間 従事200 日、漁業者	竜飛今別漁業協同 組合・水産業協同 組合法に基づく事 業の実施	野土一公 正組合員100 名・准組合員34 名・組合員数 134名	当組合の代表理事組合長として、漁業者の意見を取りまと め、低迷した組合運営を向上させている。長く漁業に従事し てきたことから、現場に精通し、課題に対する対応も迅速で ある。津軽海峡におけるまぐろ漁業の操業調整では、県の漁 業調整官の仲介のもと、当事者代表として協議に出席し、相 互の漁業操業を確保した漁業協定書を作成する等の成果をあ げており、調整能力に優れている。
2	尾野 明彦	漁業	62	男	H17.4～ 車力漁業協同組合しじみ生産部会会 長 H18.6～ 車力漁業協同組合監事 H21.6～ 車力漁業協同組合代表監事 H24.6～ 車力漁業協同組合理事 H27.6～ 車力漁業協同組合代表理事組合長 H28.6～ 青森県漁業共済組合理事 R3.4～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員 R5.4～ 西北水産振興会会長	底建網漁 業、一本釣 り漁業、年 間従事日数 110日、漁 業者	車力底建網部会・ 車力漁業協同組合 員である底建網漁 業船主の相互扶助 と親睦を深め、漁 業振興の基に底建 網漁業の健全な発 展を図ることを目 的とする	松橋篤実 5名 車力漁業協同組 合底建網漁業者 の船主	車力漁業協同組合の組合員として長年しじみ漁業に従事して いるほか、底建網漁業の経営に参画していることから、海面 漁業にも精通している。底建網漁業に関して利害関係者との 漁場の有効利用の調整、操業秩序を確立してきたことから 調整能力に優れており、課題に対する対応も迅速かつ丁寧で あることから組合員から信頼されている。また、当組合の代 表理事組合長として組合を運営していることから責任感が 強い。
3	尾野 明彦	漁業	62	男	H17.4～ 車力漁業協同組合しじみ生産部会会 長 H18.6～ 車力漁業協同組合監事 H21.6～ 車力漁業協同組合代表監事 H24.6～ 車力漁業協同組合理事 H27.6～ 車力漁業協同組合代表理事組合長 H28.6～ 青森県漁業共済組合理事 R3.4～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員 R5.4～ 西北水産振興会会長	底建網漁 業、一本釣 り漁業、年 間従事日数 110日、漁 業者	車力漁業協同組 合・水産業協同組 合法に基づく事業 の実施	尾野明彦 正組合員92名・ 准組合員169 名・組合員数 261名	当漁業協同組合の監事、理事を経て、現在では代表理事組合 長として責任感が強く漁業経営の安定化のため、漁業者の指 導に熱心に取り組み組合員の評価も高く信頼を得ている。西 北水産振興会の会長を務めており、管内の操業調整等の諸問 題の解決に尽力しており、調整能力に優れている。現在、西 部海区漁業調整委員会の委員を務めている。

4	尾野 明彦	漁業	62	男	H17.4～ 車力漁業協同組合しじみ生産部会長 H18.6～ 車力漁業協同組合監事 H21.6～ 車力漁業協同組合代表監事 H24.6～ 車力漁業協同組合理事 H27.6～ 車力漁業協同組合代表理事組合長 H28.6～ 青森県漁業共済組合理事 R3.4～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員 R5.4～ 西北水産振興会会長	底建網漁業、一本釣り漁業、年間従事日数110日、漁業者	鯨ヶ沢町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づく事業を行うための団体	富田重基 正組合員114名・准組合員260名・漁業協同組合に所属する組合員は194名	本組合が推薦する同氏は、長年一本釣り漁業や底建網漁業の経営にも参画しており、現場に精通している。組合長就任後、漁業収入安定のため漁業共済の加入や契約割合の引き上げを強く推進した実績があり、組合員からの信頼も厚く指導力にも優れている。また、漁場利用の考え方について中立であり、管内の諸問題についても俯瞰的に考えて問題解決にあたっており、調整能力に優れている。
5	富田 重基	漁業	72	男	H元.7～ 青森県機船底曳網漁業連合会監事 H4.11～ 青森県機船底曳網漁業連合会理事 H10.5～ 青森県無線利用漁業協同組合理事 H14.4～ 東北漁業無線協会理事 H15.7～ 青森県無線漁業協同組合連合会監事 H18.5～ 社団法人全国漁業無線協会監事 H21.3～ 鯨ヶ沢漁業協同組合代表理事組合長 H29.6～ 青森県漁業信用基金協会理事 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会理事 R2.2～ 鯨ヶ沢町漁業協同組合代表理事組合長	沖合底びき網漁業、年間従事日数110日、漁業者	青森県機船底曳網漁業連合会・関係法令に基づき事業を行うための自治団体	川村嘉朗 会員10名・漁業協同組に所属する組合員は10名	本会が推薦する富田氏は、本連合会の理事であり、調整委員として入会・操業等調整に長年従事頂いている。また、これら同氏による成果は、各地において安全操業等として維持・継承され、沿岸漁業の振興に大きく貢献していることは言うまでもない。まさに、広く青森県の漁業に精通されている者と言える。一方、一般社団法人全国底曳網漁業連合会が組織する各種委員会に就任して頂き、漁業の実情を踏まえた意見と運用案をもって会議の制度を高める能力は評価が高く、国からの信頼も高い。
6	富田 重基	漁業	72	男	H元.7～ 青森県機船底曳網漁業連合会監事 H4.11～ 青森県機船底曳網漁業連合会理事 H10.5～ 青森県無線利用漁業協同組合理事 H14.4～ 東北漁業無線協会理事 H15.7～ 青森県無線漁業協同組合連合会監事 H18.5～ 社団法人全国漁業無線協会監事 H21.3～ 鯨ヶ沢漁業協同組合代表理事組合長 H29.6～ 青森県漁業信用基金協会理事 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会理事 R2.2～ 鯨ヶ沢町漁業協同組合代表理事組合長	沖合底びき網漁業、年間従事日数110日、漁業者	鯨ヶ沢町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	富田重基 正組合員114名・准組合員260名・漁業協同組合に所属する組合員は194名	本組合の代表理事組合長である同氏は、地域の主力漁業である底建網漁業の操業秩序のほか多くの沿岸漁業の操業秩序を確立してきた人物であり、現在も日本海における操業調整等諸課題の解決・解消に尽力している。これまでの調整実績が裏づけるとおり、調整能力については県内随一と言える。同氏の人柄を表していると言えるが、本組合所属の有無に係わらず漁業者からの信頼も厚く、相談に対する対応も丁寧である。多忙であるのに、情報収集等を欠かすことはない。
7	富田 重基	漁業	72	男	H元.7～ 青森県機船底曳網漁業連合会監事 H4.11～ 青森県機船底曳網漁業連合会理事 H10.5～ 青森県無線利用漁業協同組合理事 H14.4～ 東北漁業無線協会理事 H15.7～ 青森県無線漁業協同組合連合会監事 H18.5～ 社団法人全国漁業無線協会監事 H21.3～ 鯨ヶ沢漁業協同組合代表理事組合長 H29.6～ 青森県漁業信用基金協会理事 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会理事 R2.2～ 鯨ヶ沢町漁業協同組合代表理事組合長	沖合底びき網漁業、年間従事日数110日、漁業者	青森県日本海機船底曳網漁業者会・関係法令に基づき事業を行うための自治団体	嶋元武信 会員6名・漁業協同組合に所属する組合員6名	本会会員である富田氏は、本会の元会長であり、日本海の各地先における漁業との操業調整に尽力されてきた者である。日本海における沿岸漁業の振興に大きく貢献してきたことは言うまでもない。一方、地域を代表して青森県漁業協同組合連合会の理事として就任しているとおり、公平性の面でも信頼されており、漁業に対して取組む地域の評価も高い。

8	富田 重基	漁業	72	男	H元.7～ 青森県機船底曳網漁業連合会監事 H411.～ 青森県機船底曳網漁業連合会理事 H10.5～ 青森県無線利用漁業協同組合理事 H14.4～ 東北漁業無線協会理事 H15.7～ 青森県無線漁業協同組合連合会監事 H18.5～ 社団法人全国漁業無線協会監事 H21.3～ 鮎ヶ沢漁業協同組合代表理事組合長 H29.6～ 青森県漁業信用基金協会理事 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会理事 R2.2～ 鮎ヶ沢町漁業協同組合代表理事組合長	沖合底びき網漁業、年間従事日数110日、漁業者	車力漁業協同組合・水産業協同組合法に基づく事業の実施	尾野明彦 正組合員92名・准組合員169名・組合員数261名	本組合が推薦する同氏は、これまで多くの沿岸漁業の操業秩序を確立してきた人物であり、現在でも日本海における操業調整等諸課題の解決・解消に尽力している。私をはじめ、他の漁協所属漁業者からの人望も厚く、多忙な中においても、常に漁業に関する相談に真摯に対応している。これまでの海区漁業調整委員としての知見や経験、誰もが認めるリーダーシップを活かして、引き続き委員として本県水産業の抱える諸問題等にご尽力いただきたい。
9	富田 重基	漁業	72	男	H元.7～ 青森県機船底曳網漁業連合会監事 H4.11～ 青森県機船底曳網漁業連合会理事 H10.5～ 青森県無線利用漁業協同組合理事 H14.4～ 東北漁業無線協会理事 H15.7～ 青森県無線漁業協同組合連合会監事 H18.5～ 社団法人全国漁業無線協会監事 H21.3～ 鮎ヶ沢漁業協同組合代表理事組合長 H29.6～ 青森県漁業信用基金協会理事 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会理事 R2.2～ 鮎ヶ沢町漁業協同組合代表理事組合長	沖合底びき網漁業、年間従事日数110日、漁業者	深浦漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	嶋元武信 正組合員数86名・准組合員37名・漁業協同組合に所属する組合員は123名	鮎ヶ沢町漁業協同組合の代表理事組合長を務める富田重基氏については、地域の主力漁業である底建網漁業の操業秩序を確立してきたほか、隣協との操業調整等諸課題の解決・解消に尽力してきた人物である。組合の所属の有無を問わず、常に漁業に関する相談に対応し、常に新しい情報の収集等を行うことにより、漁業現場指導及び調整に生かしている。
10	立石 政男	漁業	73	男	S60.5～ 脇野沢村漁業協同組合理事 H6.9～ 脇野沢村漁業協同組合代表理事組合長 H20.8～ 西部海区漁業調整委員会委員 H29.4～ 日本漁船保険組合青森県支所運営副委員長 H29.6～ 青森県漁業共済組合理事 H29.7～ むつ湾漁業振興会会長 R元.5～ 青森県ほたて流通振興協会副会長理事 R元.6～ (一社)青森県ほたて漁業振興基金副理事長	ほたて養殖、底建網漁業、眼鏡網漁業、桁びき漁業、年間従事日数250日、漁業者	脇野沢村漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき、漁民を組合員として設立された協同組合	立石政男 正組合員数53名、准組合員数13名、総組合員66名	34年間、ホタテ養殖業に従事しており、現場に精通している。ホタテ養殖技術の改良に熱心に取り組み、安定した生産を上げている。むつ湾漁業振興会の会長であり、調整能力に優れている。西部海区漁業調整委員会の委員の経験者である。
11	黄金崎 栄一	団体職員	60	男	S57.4～ 青森県(水産プロパー職員) R6.4～ 深浦町漁業協同組合参事	一、一、非漁業者・非漁業従事者	大間越漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	川村幹文 正組合員36名、准組合員0名・漁業協同組合に所属する組合員36名	本組合が推薦する同氏は、深浦町舩作地区の漁家に生まれ、組合役員であった父親の下、幼少時代から一本釣り漁業や採介藻漁業の手伝いを行ってきたほか、県職員になってからも水産業改良普及指導員として青森県の水産振興に大きく貢献したことからも業界には精通している。また、水産行政に携わったことから、漁業法や水産業協同組合法に精通し、その運用においても地域の信頼と期待を寄せている。さらに、将来の合併組合の筆頭としての期待も高い。

1 2	黄金崎 栄一	団体職員	60	男	S57.4～青森県（水産プロパー職員） R6.4～深浦町漁業協同組合参事	一、一、非漁業者・非漁業従事者	深浦漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	嶋元武信 正組合員 86 名、 准組合員 37 名・ 漁業協同組合に 所属する組合員 123 名	本組合の参事である同氏は、現在漁家経営を担う組合員と同等以上の水産業・漁業に関する広い知識を有し、その現場にも精通している。県職員であった時代の実績に対する漁業者の評価も高く、今後も地域振興策を講じていく上で期待されている。また、水産行政に携わっていたこともあり、漁業法や水産業協同組合法に精通し、地域においてその運用においても地域の信頼と期待を寄せている。人柄にもよるが信頼があり、将来の合併組合の筆頭としての期待も高い。
1 3	黄金崎 栄一	団体職員	60	男	S57.4～青森県（水産プロパー職員） R6.4～深浦町漁業協同組合参事	一、一、非漁業者・非漁業従事者	風合瀬漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	鈴木武利 正組合員 66 名、 准組合員 3 名・ 漁業協同組合に 所属する組合員 は 69 名	本組合が推薦する同氏は、深浦町舩作地区の漁家に生まれ、組合役員であった父親の下、幼少時代から一本釣り漁業や採介藻漁業の手伝いを行ってきたほか、県職員になってからも水産業改良普及指導員として青森県の水産振興に大きく貢献したことから業界には精通している。また、水産行政に携わったこともあることから、漁業法や水産業協同組合法に精通し、その運用においても地域の信頼と期待を寄せている。さらに、将来の合併組合の筆頭としての期待も高い。
1 4	黄金崎 栄一	団体職員	60	男	S57.4～青森県（水産プロパー職員） R6.4～深浦町漁業協同組合参事	一、一、非漁業者・非漁業従事者	新深浦町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	小枝裕幸 正組合員 346 名、准組合員 169 名・漁業協 同組合に所属す る組合員は 515 名	本組合が推薦する同氏は、深浦町舩作地区の漁家に生まれ、組合役員であった父親の下、幼少時代から一本釣り漁業や採介藻漁業の手伝いを行ってきたほか、県職員になってからも水産業改良普及指導員として青森県の水産振興に大きく貢献したことから業界には精通している。また、水産行政に携わったこともあることから、漁業法や水産業協同組合法に精通し、その運用においても地域の信頼と期待を寄せている。さらに、将来の合併組合の筆頭としての期待も高い。
1 5	黄金崎 栄一	団体職員	60	男	S57.4～青森県（水産プロパー職員） R6.4～深浦町漁業協同組合参事	一、一、非漁業者・非漁業従事者	鯨ヶ沢町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	富田重基 正組合員 114 名・准組合員 260 名・漁業協 同組合に所属す る組合員は 194 名	本組合が推薦する同氏は、深浦町舩作地区の漁家に生まれ、組合役員であった父親の下、幼少時代から一本釣り漁業や採介藻漁業の手伝いを行ってきたほか、県職員になってからも水産業改良普及指導員として青森県の水産振興に大きく貢献したことから業界には精通している。また、水産行政に携わったこともあることから、漁業法や水産業協同組合法に精通し、その運用においても地域の信頼と期待を寄せている。さらに、将来の合併組合の筆頭としての期待も高い。
1 6	黄金崎 栄一	団体職員	60	男	S57.4～青森県（水産プロパー職員） R6.4～深浦町漁業協同組合参事	一、一、非漁業者・非漁業従事者	車力漁業協同組合・水産業協同組合法に基づく事業の実施	尾野明彦 正組合員 92 名・ 准組合員 169 名・組合員数 261 名	本組合が推薦する同氏は、深浦町舩作地区の漁家に生まれ、組合役員であった父親の下、幼少時代から一本釣り漁業や採介藻漁業の手伝いを行ってきたほか、県職員になってからも水産業改良普及指導員として青森県の水産振興に大きく貢献したことから業界には精通している。また、水産行政に携わったこともあることから、漁業法や水産業協同組合法に精通し、その運用においても地域の信頼と期待を寄せている。さらに、将来の合併組合の筆頭としての期待も高い。

17	黄金崎 栄一	団体職員	60	男	S57.4～ 青森県（水産プロパー職員） R6.4～ 深浦町漁業協同組合参事	一、一、非漁業者・非漁業従事者	十三漁業協同組合・水産業協同組合法に基づく事業の実施	梶浦武也 正組合員 164名・准組合員 101名・組合員数 265名	本組合が推薦する同氏は、深浦町舩作地区の漁家に生まれ、組合役員であった父親の下、幼少時代から一本釣り漁業や採介藻漁業の手伝いを行ってきたほか、県職員になってからも水産業改良普及指導員として青森県の水産振興に大きく貢献したことから業界には精通している。また、水産行政に携わったことから、漁業法や水産業協同組合法に精通し、その運用においても地域の信頼と期待を寄せている。さらに、将来の合併組合の筆頭としての期待も高い。
18	小野 修一	漁業	65	男	S55.4～ 大戸瀬漁業協同組合正組合員 H19.3～ 大戸瀬漁業協同組合理事 H20.1～H22.3 新深浦町漁業協同組合副組合長 H24.3～H27.3 新深浦町漁業協同組合副組合長 H27.3～ 新深浦町漁業協同組合理事	底建網漁業・定置網漁業・一本釣り漁業・採介藻漁業、年間従事日数 200日、漁業者	田附 直人 尾野 明彦 富田 重基 嶋元 武信 鈴木 武利 川村 幹文 山本 幸宏 古川 兼寿 工藤 裕幸 山崎 光晴 五十嵐 章	54歳・漁業 62歳・漁業 72歳・漁業 57歳・漁業 64歳・漁業 70歳・漁業 78歳・漁業 70歳・漁業 54歳・漁業 54歳・漁業 62歳・漁業	先代から譲り受けた底建網漁業主体にマグロー一本釣り漁業に従事しているほか、磯根資源の採取等にも従事していることから地域の漁業に精通している。副組合長時代には、組合代表として底建網漁業の調整に携わり、沖合底びき網漁業等の漁場・漁業資源の共有等を踏まえた調整に尽力し、区域を新設した実績を有することからも調整能力を有し、資質もある。昨今、後継者不足が深刻化する環境において後継者を確保・育成しており、それら後継者も次世代を担う者として地域から期待されている。
19	山縣 勝彦	漁業	65	男	S54.4～ ホタテ養殖業 H10 ～ 青森県青年漁業士 H12.3～H15.3 野辺地町漁業協同組合代表幹事 H16 ～ 青森県指導漁業士 H26 ～ 東青漁業士会副会長 H28 ～ 東青漁業士会監事 H15.4～H18.3 野辺地町漁業協同組合副組合長 H29.4～R5.3 野辺地町漁業協同組合代表理事組合長 H29.5～R5.3 むつ湾漁業振興会理事 H30.6～R5.3 青森県信用漁業協同組合連合会理事	養殖漁業、年間従事日数 300日、漁業者	砂原 則行 横濱 福太郎 吉田 東 斉藤 孝志	68歳・ホタテ養殖業 44歳・ホタテ養殖業 40歳・ホタテ養殖業 66歳・ホタテ養殖業	青年漁業士や東青漁業士会の委員の経験者である。野辺地町漁協代表理事組合長を歴任しており、いろいろな面で精通している。ホタテ養殖を長年営んでおり、安定した生産に取り組んでいる。
20	伊藤 大作	漁業	58	男	H28.3～ 三厩漁業協同組合監事	まぐろ・めばる一本釣り漁業、年間従事日数 250日	三厩漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき漁民の協同組織の発展等を図る	牧野勇次 正組合員 149名・准組合員 81名・組合員数 149名	当組合が推薦する伊藤大作は、先代から主としてマグロー一本釣り漁業を継承し、昨今では組合における水揚げは常に上位にある。また、その他にも多様な漁業に精通している。長く組合下部組織である研究会の会長を務め、その実績は県が主催する実績発表大会で評価されている。さらに、長く組合役員の務めた経験を有し、水産行政・関係機関（団体）との調整経験も豊富である。

2 1	堀内 精二	漁業	61	男	H8.7～ (株)ホリエイ取締役 H17.4～ (株)ホリエイ代表取締役 H26.1～ 日本サーモンファーム(株)取締役 H29.8～ 青森県定置漁業協会会長 H30.7～ 日本定置漁業協会理事 H30.11～ 日本フィッシャリーサポート(株)取締役 R1.9～R4.8 水産庁水産政策審議会委員 R3.4～ 西部海区漁業調整委員会委員 R6.6～ 西部海区漁業調整委員会会長	定置漁業、 年間従事日 数 250 日	深浦漁業協同組 合・水産業協同組 合法に基づき、漁 民の協同組織の発 展を促進等のため	嶋元武信 正組合員数 86 名、准組合員数 37 名・組合員数 123 名	長年、定置網漁業を経営しており、現場に精通している。青森県定置協会の会長、日本海定置協会の理事を務め、さらに、水産政策審議会の委員も務めた経験を有し、水産行政・関係機関との調整にも長けている。昨今では、クロマグロ資源管理において協定管理委員会を会長として公平な立場から会議を取りまとめている。
2 2	成田 直人	団体 役員	69	男	H28.3～ 小泊漁業協同組合代表理事組合長 H28.6～R3.3 青森県信用漁業協同組合連合会 監事 H30.6～代表監事) H31.1～ 中泊町議会議員 R3.4～R5.5 東日本信用漁業協同組合連合会青 森県マリンバンク運営委員会委員 R5.6～ 東日本信用漁業協同組合連合会青森県 マリンバンク運営委員会委員長 R5.7～ 東日本信用漁業協同組合連合会青森県 マリンバンク運営委員会委員	一、一、非 漁業者・非 漁業従事者	小泊漁業協同組 合・水産業協同組 合法に基づく事業 の実施	成田直人 正組合員 177 名、准組合員 117 名・組合員 数 294	昭和 48 年 4 月に小泊漁業協同組合に入組し、42 年間、漁協職員として職務を全うしており、その間、指導課長や信用課長、総務課長、参事として漁業調整や漁業振興、漁家経営に精通している。平成 28 年 3 月に小泊漁業協同組合代表理事組合長に就任し、漁業現場における状況把握力や指導力に優れており、漁業調整問題を客観的に理解し、解決できる適任者である。
2 3	川山 光則	漁業	70	男	S45.3～ 漁業従事 S60.5～ 有限会社小泊製氷代表取締役社長 S63.2～ 株式会社権現崎観光代表取締役 H11.4～ 中泊町議会議員 (R3.5～議長) H20.8～R3.3 青森県西部海区漁業調整委員会 委員 H22.3～H31.3 小泊漁業協同組合理事	やりいか小 型定置漁 業・刺し網 漁業、年間 従事日数 100 日	小泊漁業協同組 合・水産業協同組 合法に基づく事業 の実施	成田直人 正組合員 177 名、准組合員 117 名・総組合 員数 294	昭和 45 年から漁業従事し漁業の現場に精通している。平成 11 年 4 月から中泊町議会議員として町政に携わっていること、小泊漁業協同組合の理事を 3 期務めた経験から当地区をとりまとめる指導能力に優れた人物である。また、西部海区漁業調整委員会委員を務めた実績があり、漁業調整や漁場の利用実態などに関する知識と経験があり調整能力にも優れている。
2 4	成田 直人	団体 役員	69	男	H28.3～ 小泊漁業協同組合代表理事組合長 H28.6～R3.3 青森県信用漁業協同組合連合会 監事 H30.6～代表監事) H31.1～ 中泊町議会議員 R3.4～R5.5 東日本信用漁業協同組合連合会青 森県マリンバンク運営委員会委員 R5.6～ 東日本信用漁業協同組合連合会青森県 マリンバンク運営委員会委員長 R5.7～ 東日本信用漁業協同組合連合会青森県 マリンバンク運営委員会委員	一、一、非 漁業者・非 漁業従事者	中泊町・地方公共 団体	濱舘豊光 —	小泊漁協に長年勤務し指導事業等を通じ、種苗放流や資源管理の実践経験及び水産業に関する知識が豊富である。現在、代表理事を務め、漁業経営、漁業調整にも精通し、高い識見を有している。漁業の発展のためには、水産資源の適切な管理と持続的な利用の両立が重要であり、現状の漁業の実情を踏まえて、有益な提案をされることが期待され、漁業振興に貢献できると考えている。

25	川山 光則	漁業	70	男	S45.3～ 漁業従事 S60.5～ 有限会社小泊製氷代表取締役社長 S63.2～ 株式会社権現崎観光代表取締役 H11.4～ 中泊町議会議員 (R3.5～議長) H20.8～R3.3 青森県西部海区漁業調整委員会委員 H22.3～H31.3 小泊漁業協同組合理事	やりいか小型定置漁業・刺し網漁業、年間従事日数100日	中泊町・地方公共団体	濱館豊光 —	50年以上、漁業に従事しており、各種漁業を経験してきたため現場に精通している。また、小泊漁業協同組合の理事を9年間務めるなど、地域漁業の振興や発展に寄与し、指導力にも優れている。特にエビ籠漁業などの操業実態や各種漁業の漁場利用調整に関する実績もあり、漁業や漁場の利用実態などに関する知識と経験がある。西部漁業調整委員会委員を第19期から第21期まで務めた実績があり、その資質を十分に有している。
26	柴田 武信	漁業	73	男	S41.4～ 漁業従事 H25.3～H31.3 平内町漁業協同組合監事 H31.3～ 平内町漁業協同組合理事 R3.4～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員	ホタテガイ養殖・刺し網漁業、年間従事日数270日	平内町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げる等	三津谷廣明 正組合員数650名、准組合員数79名、総組合委員数729名	54年間ホタテ養殖漁業を営んでおり常に安定して生産を続けている。地域のリーダーとして信頼され、現場にも精通している。平内町漁業協同組合資格震災委員を2期(6年)、監事2期(6年)、現在理事就任中である。今現在、西部海区漁業調整委員を務めており、適任である。
27	田村 義夫	漁業	75	男	S54.4～ ホタテ養殖業 H13.3～ 平内町漁業協同組合理事 R2.8～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員 R3.1～ 平内町漁業協同組合常任理事 R4.3～ 平内町漁業協同組合理事	ホタテ養殖、刺し網漁業、年間従事日数270日	平内町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げる等	三津谷廣明 正組合員数650名、准組合員数79名、総組合委員数729名	45年間ホタテ養殖業に従事し、現場に精通している。ホタテ養殖技術の改良に熱心に取り組み、安定した生産を上げている。平内町漁業協同組合の理事であり、調整能力に優れている。現在、西部海区漁業調整委員を務めており、適任である。
28	後藤 石雄	漁業	65	男	H13.4～ 浦田研究会会長 H15.4～ 平内町連合研究会会長 H22.2～ 漁青連理事 H26.2～ 漁青連会長 H29.3～ 平内町漁業協同組合理事 R2.3～ 平内町漁業協同組合常任理事	ホタテガイ業職業、刺し網漁業、年間従事日数260日	平内町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げる等	三津谷廣明 正組合員数650名、准組合員数79名、総組合委員数729名	40年間ホタテ養殖業に従事しており、養殖技術の向上に熱心に取り組み他の漁業者に対してすぐれた指導的役割を果たし地域漁業の振興に貢献した。また、平成26年より漁青連の会長も2期務め環境保全、再生活動、魚食普及活動、持続的な漁業の推進等に積極的に取り組んだ。今現在、平内町漁業協同組合の理事を務めるとともに、浦田支所の常任理事であり適任である。
29	東 伸行	大学教員	62	男	H6.3 東京大学大学院農学系研究科水産学専攻博士課程修了博士(農学) H6.7～ 豊橋技術科学大学工学部助手 H9.10～ 弘前大学農学部生命科学科助手 H19.4～ 弘前大学農学部生命科学科准教授 H24.8～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員 H28.4～ 弘前大学農学部生命科学科教授 R4.4～ 弘前大学農学部生命科学科学部長	—、—、非漁業者・非漁業従事者	—	—	これまで、生物学・水産学の専門家として青森県西部海区漁業調整委員会委員を務め、委員会に参画してまいりました。主として野生生物を対象とする水産資源管理は、漁業者・行政が主体となって行う資源管理に加え、気候変動などの自然条件の変化など、総合的な視点も必要であります。自然環境、社会環境が大きく変化している現在、より適切な対応が必要とされる近未来において、学術的な立場から本件の水産業に貢献いたしたく、応募させていただきます。

30	菊谷 尚久	会社員、 鱒ヶ沢町 議会議員	63	男	S61.4～ 青森県職員採用（水産試験場勤務） H27.4～ 青森県職員を退職し地方独立行政法人青森県産業技術センター職員として採用 H30.4～ 水産総合研究所企画調整監 H31.4～ 内水面研究所所長 R2.4～R4.3 水産総合研究所所長 R4.4～ 社会福祉法人つくし会職員 R6.3～ 鱒ヶ沢町議会議員	一. 一. 非 漁業者・非 漁業従事者	—	—	資源管理の持続的利用のため国では現在7魚種についてTAC制による管理を行っているが、今後はその他の魚種についてもTAC制による管理の可能性ある。特に西部海域は、サワラ・ケンサキイカなど従来漁獲の対象になっていなかった魚種の漁割急増がみられ、資源の管理についてはエビデンスに基づいて漁業調整していく必要があると考えている。よって、長年の研究所勤務でえられた知識、経験、スキルを当該海区のために活用・貢献できればと考え、支部会区漁業調整委員に応募する。
31	古川 今日志	漁業	48	男	H6.4～ 古川漁業部勤務 H15.3～ (有)カネショウ古川漁業部設立代表取締役 H18.4～ 大戸瀬漁業協同組合青年部部長 H18.4～H24.3 青森県水産業改良普及会理事 H21.9～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員 H27.2～ 青森県定置漁業協会理事	大型定置漁業、年間従事日数280日	新深浦町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げる等	小枝裕幸 正組合員数346名、准組合員数169名、総組合員数515名	30年間、大型定置網漁業に従事しており、現場に精通している・魚価の向上の為、船上にて神経締めを行い、その技術を漁業者に広めている。早くから青年部長をしており、責任感が強く、地元漁業者からの信頼も厚く指導力にも優れており漁業振興の発展に尽力し、これからの漁業者を牽引できる高い資質を十分有している。
32	西崎 昭一	漁業	61	男	S56.4～ 西崎漁業部勤務 H元.4～ 舳作漁業協同組合正組合委員 H18.9～ (株)西崎水産代表取締役 H23.4～R2.3 青森県漁青連協議会副会長 H27.9～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員 H28.4～ 新深浦町漁業協同組合理事 H28.4～ 青森県定置協会理事	定置網漁業・タラ刺し網漁業・アワビ漁業、年間従事日数280日	新深浦町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げる等	小枝裕幸 正組合員数346名、准組合員数169名、総組合員数515名	約40年間、定置網漁業等に従事しており、現場に精通している。定置網、刺し網漁業における漁獲、魚価の向上、鮮魚の取扱、販路拡大に熱心に取り組み地域のリーダー的存在である。西部海区漁業調整委員でもある。
33	竹ヶ原 公	法人 役員	65	男	H22～H23 青森県上北地域づくり研究所代表 H26～ 弘前大学客員研究員 H27～ NPOひろだいりサーチ理事長 H30～ 青森大学総合計学部非常勤講師 R2～ 学校法人吉田学園理事長 R3～ 青森県西部海区漁業調整委員会委員	一. 一. 非 漁業者・非 漁業従事者	沼田郷	大学教員、51歳	竹ヶ原氏には、これまでの大学・大学院で培われた学識を大学教育の場で遺憾なく発揮していただいている。また、教職員のみならず学生からの信頼も厚く、学生に寄り添った親身な教育を実践いただいております。このような点から、青森県海区漁業調整委員会委員として、中立的な立場から職務を全うできるものと考え同氏を推薦いたします。
34	黒滝 洋子	漁業	69	女	S63.4～ 有限会社山三黒瀧商店勤務 H29.8～ 有限会社山三黒瀧商店代表取締役	定置漁業、年間従事日数250日	—	—	海区漁業調整委員を4年間務めさせていただき、今後の定置漁業その他の漁業の行く末の不安と改善を考える為にも従事し、頑張りたいと思ひ応募いたします。

35	永瀬 めぐみ	行政書士、会社員	47	女	H19.9～H29.6 有限会社フィナンシャル・サポート役員 R2.10～ 行政書士永瀬めぐみ事務所代表 R5.1～ 合資会社ノヴェレッテ代表社員	一. 一. 非漁業者・非漁業従事者	青森県行政書士会・行政書士法に基づき、会員の品位を保持し、その業務の改善進歩を図るため、会員の指導及び連絡に関する事務を行うための法人	野崎径裕 会員 363 名	適切な資源管理と水産業の成長産業化に貢献するため、漁業権や県漁業調整規則・漁獲制限・許可漁業等青森県海区漁業調整委員会の書証に属する事項に関し利害関係を有しない中立委員として、青森県海面漁業の沿岸市町村を中心に行政書士として活動している若手理事を推薦します。
36	小枝 裕幸	漁業	67	男	S51.4～ 大戸瀬漁業協同組合正組合員 S51.4～ 北金ヶ沢漁業振興会委員 H25.7～H29.3 新深浦漁業協同組合理事 H29.3～ 新深浦漁業協同組合代表理事組合長	底建網漁業・延縄漁業、年間従事日数 260 日	新深浦漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げる等	小枝裕幸 正組合員数 346 名、准組合員数 169 名、総組合員数 515 名	沿岸漁業において多種漁業に関わり最前線で活動して参りました。昨今の漁獲不足に頭を痛めている所ですが、比べてマグロの漁獲増見込まれる中多くの漁業者だマグロ漁に活路を求めております。戦線で活動する者として、そういう人達の麻植を届けるべく行動出来ればと思っております。